

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	2020年10月9日
【四半期会計期間】	第121期第3四半期（自 2020年6月1日 至 2020年8月31日）
【会社名】	岡野バルブ製造株式会社
【英訳名】	OKANO VALVE MFG.CO.LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 岡野 武治
【本店の所在の場所】	北九州市門司区中町1番14号
【電話番号】	093(372)1131（代）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 木村 浩一
【最寄りの連絡場所】	北九州市門司区中町1番14号
【電話番号】	093(372)1131（代）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 木村 浩一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番2号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第120期 第3四半期連結 累計期間	第121期 第3四半期連結 累計期間	第120期
会計期間	自2018年12月1日 至2019年8月31日	自2019年12月1日 至2020年8月31日	自2018年12月1日 至2019年11月30日
売上高 (千円)	4,020,219	3,647,062	6,663,904
経常損失( ) (千円)	732,093	223,771	792,611
親会社株主に帰属する四半期(当 期)純損失( ) (千円)	558,735	89,196	983,401
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	592,844	129,600	1,015,250
純資産 (千円)	8,917,703	8,302,577	8,491,533
総資産 (千円)	13,095,601	11,961,671	12,844,764
1株当たり四半期(当期)純損失 ( ) (円)	322.22	51.70	567.49
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	68.1	69.4	66.1

回次	第120期 第3四半期連結 会計期間	第121期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自2019年6月1日 至2019年8月31日	自2020年6月1日 至2020年8月31日
1株当たり四半期純損失( ) (円)	103.21	43.67

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には消費税等は含まれておりません。
- 3 第120期潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式がないため、記載しておりません。
- 4 第120期第3四半期連結累計期間及び第121期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式がないため、記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクは、次のとおりであります。  
なお、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について)

新型コロナウイルス感染症の拡大による水際対策、日本国内においての緊急事態宣言の発令により、国内外の営業活動が制限されたため、当初予定しておりました売上計画の一部が延伸となり、また、生産減少にも影響し、工場操業度が低下しております。

経済活動は段階的に再開されていますが、収束時期は依然として不透明であるため、今後の経過によっては、当社グループの事業活動および収益確保に継続して影響を及ぼす可能性があります。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により世界規模での経済活動の落ち込みが見られ、国内においても企業活動や個人消費活動が大幅に制限されたことで景気が急速に悪化いたしました。

発電プラント用バルブの製造販売およびメンテナンスを主要事業とする当社グループの事業環境につきましては、女川原子力発電所2号機において新規制基準に基づく安全審査の合格が決定し、立地自治体による再稼働容認の動きがみられるなどの進展はあるものの、再稼働時期は依然として流動的であり、先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、バルブ事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により主に国内外の新設火力プラント向け受注が減少する中、柏崎刈羽原子力発電所6号機、7号機向けやインドネシアの新設火力発電所であるチレボン石炭火力発電所2号機向けの販売に加え、玄海原子力発電所3号機、4号機の特重大事故等対処施設(以下、特重施設)における先行工程の弁販売などに注力いたしました。全般的に小口案件主体であったことから売上高は低調に推移いたしました。

メンテナンス事業におきましては、夏季の工事需要低下時期を迎えたことから売上高は低調に推移したものの、柏崎刈羽原子力発電所6号機、7号機の設備設置工事や女川原子力発電所2号機の点検工事等の主要案件が売上計上されたため、概ね計画通りの業績となりました。

新規事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による営業活動の制限等を受けたことにより、売上高は低調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,647百万円(前年同期比9.3%減)となりました。また、バルブ事業における売上高の絶対量不足が影響し、営業損失293百万円(前年同期は営業損失800百万円)、経常損失223百万円(前年同期は経常損失732百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失89百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失558百万円)となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ883百万円減少し、11,961百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が656百万円、仕掛品が660百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が1,986百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ694百万円減少し、3,659百万円となりました。この主な要因は、買掛金が246百万円、長期借入金が257百万円、役員退職慰労引当金が244百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ188百万円減少し、8,302百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が123百万円減少し、自己株式が24百万円増加したことによるものであります。

#### (3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は15百万円であります。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	5,940,000
計	5,940,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年8月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年10月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,793,000	1,793,000	東京証券取引所 市場第二部 福岡証券取引所	単元株式数 100株
計	1,793,000	1,793,000		

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年6月1日～ 2020年8月31日		1,793,000		1,286,250		543,750

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年5月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 69,600	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,715,100	17,151	-
単元未満株式	普通株式 8,300	-	-
発行済株式総数	1,793,000	-	-
総株主の議決権	-	17,151	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が200株(議決権2個、すべて失念株)、また「単元未満株式」の欄には、自己株式63株が含まれております。

【自己株式等】

2020年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 岡野バルブ製造(株)	北九州市門司区中町1番14号	69,600	-	69,600	3.8
計		69,600	-	69,600	3.8

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年12月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,908,510	3,564,657
受取手形及び売掛金	4,022,940	2,036,830
製品	147,113	132,184
仕掛品	989,100	1,649,128
原材料	115,462	131,776
その他	44,679	101,912
貸倒引当金	17,000	17,000
流動資産合計	8,210,807	7,599,490
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	1,647,866	1,568,137
機械装置及び運搬具(純額)	1,824,966	1,617,565
その他(純額)	364,943	317,076
有形固定資産合計	3,837,776	3,502,779
<b>無形固定資産</b>	14,800	43,222
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	491,535	466,633
繰延税金資産	190,756	258,980
その他	102,688	94,166
貸倒引当金	3,600	3,600
投資その他の資産合計	781,380	816,179
固定資産合計	4,633,956	4,362,181
<b>資産合計</b>	<b>12,844,764</b>	<b>11,961,671</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	400,560	153,813
1年内返済予定の長期借入金	312,612	312,612
未払費用	227,975	142,157
未払法人税等	17,293	50,985
賞与引当金	28,647	63,700
その他の引当金	33,749	26,947
その他	244,792	315,894
流動負債合計	1,265,630	1,066,109
固定負債		
長期借入金	2,109,235	1,851,850
役員退職慰労引当金	282,138	37,287
退職給付に係る負債	696,226	703,847
固定負債合計	3,087,600	2,592,985
負債合計	4,353,230	3,659,094
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,286,250	1,286,250
資本剰余金	543,750	543,750
利益剰余金	6,853,736	6,729,972
自己株式	213,748	238,536
株主資本合計	8,469,987	8,321,435
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,435	763
退職給付に係る調整累計額	12,889	18,094
その他の包括利益累計額合計	21,545	18,858
純資産合計	8,491,533	8,302,577
負債純資産合計	12,844,764	11,961,671



## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
売上高	4,020,219	3,647,062
売上原価	3,936,874	3,262,184
売上総利益	83,345	384,877
販売費及び一般管理費		
役員報酬	134,170	87,154
給料手当及び賞与	275,346	226,454
賞与引当金繰入額	14,287	10,995
退職給付費用	13,946	12,425
役員退職慰労引当金繰入額	13,087	8,750
減価償却費	20,456	15,393
貸倒引当金繰入額	17,000	-
その他	395,100	317,158
販売費及び一般管理費合計	883,395	678,330
営業損失( )	800,050	293,453
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	7,601	7,580
持分法による投資利益	24,932	27,133
受取賃貸料	20,524	20,449
受取保険金	20,486	2,867
その他	9,674	21,090
営業外収益合計	83,232	79,135
営業外費用		
支払利息	6,318	5,735
減価償却費	1,475	1,475
固定資産除却損	-	935
その他	7,481	1,307
営業外費用合計	15,275	9,453
経常損失( )	732,093	223,771
特別利益		
受取補償金	-	1,131,739
特別利益合計	-	131,739
特別損失		
固定資産除却損	25,708	-
臨時損失	-	2,7968
特別損失合計	25,708	7,968
税金等調整前四半期純損失( )	757,801	99,999
法人税、住民税及び事業税	8,096	48,000
法人税等調整額	207,163	58,803
法人税等合計	199,066	10,803
四半期純損失( )	558,735	89,196
親会社株主に帰属する四半期純損失( )	558,735	89,196

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
四半期純損失( )	558,735	89,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,383	35,199
退職給付に係る調整額	1,275	5,204
その他の包括利益合計	34,108	40,404
四半期包括利益	592,844	129,600
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	592,844	129,600
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大により、当第3四半期連結累計期間において、当社グループでは売上計画の一部延伸、また、生産量の減少による工場操業度の低下の影響を受けております。

このような状況により、一時的な需要低下があるものの、感染拡大の収束、経済活動の再開に伴い当連結会計年度末にかけて受注状況が回復していくと仮定しており、繰延税金資産の回収可能性および固定資産の減損等の会計上の見積りについては、当該仮定を反映しております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積りおよび仮定とは異なる可能性があります。

(四半期連結損益計算書関係)

1 受取補償金

当社の連結子会社である岡野クラフト株式会社において、福島第一原子力発電所の事故に伴い東京電力ホールディングス株式会社から受取りました賠償金を特別利益に計上したものであります。

2 臨時損失

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を背景とした緊急事態措置等により、一部の事業所において当社の業務が提供できなかった期間に係る固定費を特別損失に計上したものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
減価償却費	362,037千円	343,850千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)

(1)配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年2月27日 定時株主総会	普通株式	34,709	20.0	2018年11月30日	2019年2月28日	利益剰余金

(2)基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの  
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)

(1)配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年2月27日 定時株主総会	普通株式	34,566	20.0	2019年11月30日	2020年2月28日	利益剰余金

(2)基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	パルプ事業	メンテナンス 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,565,021	1,455,198	4,020,219	-	4,020,219
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,565,021	1,455,198	4,020,219	-	4,020,219
セグメント利益又は損失 ( )	287,505	11,108	276,396	523,653	800,050

(注) 1. セグメント利益又は損失( )の調整額 523,653千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	パルプ事業	メンテナンス 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,800,578	1,846,483	3,647,062	-	3,647,062
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,800,578	1,846,483	3,647,062	-	3,647,062
セグメント利益又は損失 ( )	302,135	412,068	109,932	403,385	293,453

(注) 1. セグメント利益又は損失( )の調整額 403,385千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり四半期純損失( )	322円22銭	51円70銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失( ) (千円)	558,735	89,196
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純損失( ) (千円)	558,735	89,196
普通株式の期中平均株式数(株)	1,734,044	1,725,317

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式がないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年10月8日

岡野バルブ製造株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

吉田 秀敏

印

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

室井 秀夫

印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている岡野バルブ製造株式会社の2019年12月1日から2020年11月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年12月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、岡野バルブ製造株式会社及び連結子会社の2020年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。